

環太平洋の物流拠点担う



日韓の講師を迎えて開かれた釜山・福岡セミナー（韓国・釜山市の釜山商工会議所）



吉田進
日商岩井常務

北東アジアに経済圏 吉田氏

第2回釜山・福岡セミナー

【釜山二十七日】岩井 鈴木記者 日本経済新聞社は二二日、韓国・釜山市で昨年に続き、釜山商工会議所、福岡商工会議所、釜山日報社と共催で「第二回釜山・福岡セミナー」を開いた。吉田進・日商岩井常務、朴寿伊・慶星大学校貿易大学院教授の二日間の講師が「世界に羽ばたいた経済人と自治体幹部」を約二百人が詰め、熱心に聞き入り、釜山・福岡・物流ネットワーク構想の共通テーマに入っていた。

交際立など、アジアを取り巻く国際情勢は大きく変化し、北東アジアの貿易、経済関係にも影響を与えている。その一つは社会主義国との取引拡大である。特に韓国で驚くしく、対中取引は八八年に二十億を突破し、九〇年三十二億に上ったと見られる。

アジアの北東部には韓国、北朝鮮、日本、中国（主として東三省）、ソ連（極東地域）が日本海を内海として隣接している。この地域は全アジアの人口

主催者あいさつ

21世紀へ飛躍の契機 崔正煥・釜山商工会議所会長 釜山と福岡は韓日間の人的交流で最大の拠点となってきたが、今後はさらに両都市間の交流が進展し、環太平洋時代の国際化を担うようになる。今回のセミナーのテーマは物流ネットワークで、大要タイムリーだと思う。ともに二十一世紀の主役と

の約一〇％、国民総生産の七〇％を占めており、「北東アジア経済圏構想」が各方面から打ち出されている。この経済圏が成立すると、大きな物流が生まれる。特にソ連のウラジオストク、ポジェット、中国の閩門江の三方所は一段と重要な港となる。ウラジオストク港はシベリア鉄道の終点であり、太平洋沿岸などへの物資補給基地である。九一年中には商業港となる。だが、日ソ間などの貨物輸送量の増大により、ウラジオストク港だけでは不十分となる。この結果、ポジェット港の拡張が必要となり、すでに

インフラ整備不可欠 朴氏



朴寿伊教授
慶星大学校教授

現在、E.C（欧州共同体）の

なる都市に飛躍するきっかけになると期待している。

互いの発展の起爆剤

後藤達夫・福岡商工会議所副会長 釜山と福岡は韓日間の課題を待たず、それを解決に導くという新国際化を進めようかという緊密かつ重要な問題に直面している。本日このセミナーを契機として、釜山・福岡間における将来の物流のあり方と具体策が議論検討され、互いの経済発展の起爆剤となることを切望す

出口として、国内貿易の輸送分野で大きな役割を果たす。また、海外依存度が高いことから、国内と海外との連絡の拠点ともなる。日韓海底トンネルも、日韓両国で調査研究が進んでいる。韓国側では専門研究家の釜山支部が巨済部の六地点で地質調査を終え、開いている。釜山から巨済島、対馬、壱岐を経由して呼子まで三百三十五キロの海底トンネルが、リニアモーターカーで三十分で結ばれる。このプロジェクトは釜山、福岡を抜きに考えられない。

朴氏

統合、東西ドイツの統一、ソ連のペレストロイカなど世界経済は不確実で、予測することは難しい。その中で世界経済は北方経済圏、ヨーロッパ経済圏、アメリカ・環太平洋経済圏と三つの経済圏のG.N.P.（国民総生産）は世界の四分の一になると予測

シベリア開発の拠点

宋正済・釜山日報社長 釜山と福岡の物流は重要であり、発展している。今年三月には超高速船も運航する。釜山、福岡は物流拠点であるのはもちろんのこと、シベリア開発の拠点の役割も担う。今後の物流には様々な新しい問題もあろうが、経済界にとまらず、行政やマスコミも積極的に関与が必要である。

一層の友好と親善を

山岸一平・日本経済新聞社取締役西部支社代表 昨年、釜山と福岡の経済、産業、文化を展望するため、初の釜山・福岡セミナーを開いたが、この一年間で両地域は一層結びつきを強化した。国際化の基本は相互の立場と価値観の理解が大事で、このセミナーは両地域の友好親善に役立ってくれたと確信している。

されている。この地域では国境を越えた経済圏が形成される可能性が高い。韓国はソ連、中国と緊密になり、また韓国、アジア、北方と世界の市場が一体化する中で、朝鮮半島は中心地としての役割を果たすことになる。国際交流が進めば、物流をより進めいくが課題となる。港湾、荷役施設を拡張してコンテナを伸ばすことはできるが、限界があり、新たな港湾を造ることが望ましい。物流の合理化には輸送競争力を高めることができる。それには輸送手段の自動化、物流管理システムの開発、テレポートの建設など物流費用を減らさなければならぬ。北東アジアが進めば釜山港の重要性は高まり、特に二十一世紀には世界経済の拠点はアジア・環太平洋地域に移り、韓国はますます北方貿易を促進していく。こうしたなかで、韓国では港湾施設が不足し、ふ頭を使用して年五千億の損失を招いている。私は加徳島にも一つ

港を建設するのたらしいのでは、また物流の量が増えるにつれ、港湾機能が限界にきて、インフラ整備が必要となってきた。ソ連は天然資源が豊富で韓国から進出が活発化しているが、北方貿易が盛んになるにつれ、釜山港の重要性は高まっている。釜山市には良い労働力もあり、空港や金融機関、産業も整備されており、他の港湾より優れている。かつてのバックスアメリカから、現在は「バックスパン」に表現できる時代で、その中心はソ連と中国とも近く、北方との交通もできる釜山港だ。釜山港の地域経済への貢献度は、大分高い。福岡との関係は、両地域を結ぶ海路トンネル、ガスパイプライン、シベリア鉄道につながる鉄道の建設などが二十一世紀には実現するだろう。釜山、福岡が共に繁栄するためにも、何らかの常設機関をつくらせて共同プロジェクトを考えていくのもいいと思う。